

令和7年度山梨県普及センターだより（10月号）

オリジナル品種「サンシャインレッド」の普及に向けて

果樹試験場 農業革新支援センター

「サンシャインレッド」は、令和6年度までに18,000本以上の苗木が県内全域に供給されており、今年から本格出荷が始まり、さらなる品質の向上が求められています。

この品種の特徴である鮮明な赤い色に仕上げるには、着色管理が重要なポイントとなります。

そこで、令和7年度版の「栽培管理の手引き」について、着色管理の項目を見直すとともに、果樹担当普及指導員とJA営農指導員（合計で約90名）を対象に、5月の開花期前後における房づくり・ジベレリン処理、6月の摘粒・摘房、さらに、7月から8月の着色期にかけての着色管理について、それぞれの時期に応じた研修会を開催しました。今年度は特に品質向上に向けた着色管理技術に重点を置いて技術統一を図りました。

また、従来の長梢剪定に加えて、短梢剪定栽培についての研修会も行い、栽培管理上の留意点などについて理解を深めていただきました。



研修会の様子